

授業科目 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ

【担当教員名】 塩見義彦, 伊東正裕, 豊田保, 伊藤富士江 柴山悦子, 丸田秋男, 横山豊治, 廣瀬清人	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60(学内講義30・見学自習30)

【概要及び学習目標】

概要：

社会福祉専門職者の専門性としては、専門技術（社会福祉固有の援助方法・技術）、専門知識（歴史、倫理、知識、各種社会福祉制度、隣接学問に関する知識）、基礎知識（関連知識、一般教養）、倫理性（価値観や思想、人権擁護、守秘義務）、主体性（自立性と共存性）が挙げられている。こうした専門性を身に付けていくうえで、実習は体験学習と位置付けられ、技術や知識の習得とならんで重要な位置を占めている。実習Ⅰは、社会福祉各分野の現場の現況を理解し、諸機関・施設で働く社会福祉専門職者の役割を把握することに主眼が置かれる。

学習目標：

- ① 社会福祉各分野の福祉機関・施設について分野別にその設置趣旨・目的・事業内容・利用者の実態等について理解する
- ② 現場への配属実習に入る前に、見学実習をとおして社会福祉各分野の現状と課題を把握する
- ③ 社会福祉機関・施設で働く社会福祉専門職者（ソーシャルワーカー）としての基本的業務・役割について学ぶ

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	本学の実習体制について	オリエンテーション	講義
2	社会福祉行政機関	社会福祉行政機関の概要、現状と課題	講義
3	児童福祉の分野	児童福祉サービスの体系、現状と課題	講義
4	障害者福祉の分野	障害者福祉サービスの体系、現状と課題	講義
5	老人福祉の分野	老人福祉サービスの体系、現状と課題	講義
6	地域福祉の分野	地域福祉サービスの体系、現状と課題	講義
7	医療福祉の分野	医療福祉サービスの体系、現状と課題	講義
8～ 12	社会福祉機関・施設等の 見学訪問	グループに分け、新潟県内の社会福祉機関・施設を見学し、現場の状況を理解する。（グループ分け・見学スケジュール等については、別途指示する。）	見学実習
13～ 15	見学実習で体得したことを 深める	見学実習を踏まえてグループごとに社会福祉の各分野について学習する	演習

【評価方法】

出席状況とレポートの提出状況により評価する。

【履修上の留意点】

この科目は社会福祉援助技術現場実習ⅡA（2年次）・ⅡB（3年次）につながっていくものであり、1年次に履修し単位を取得しておく必要がある。学内学習の時間・場所等については、後期のはじめに掲示するので確認すること。出席が重視され、全授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えることができない。

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
	(授業にて指示する)			